

障害者地域活動支援センター

「ふえふき通信」

「明るく・元気にやっています」



佐野慶子さんレポート

前回のかけはしに出演してくれた佐野さん。今回はその反響はどうだったのか、また出演に際してくれたのはなぜ…？ などについて、話を聞いてみました。

まりな（以下：ま）

佐野さん（以下：佐）

写真、載ってたじゃん！

ま 前回のかけはしが出てから1ヶ月・表紙を飾りましたがその後反響はありました？

佐 ありましたよ！よく行く市内のパン屋さん、当事者会のメンバー、近所の方まで！「（かけはしに）載ってたね」と良く声をかけられるようになりました。率直に、どんな気持ち？

ま 声をかけてもらうのは嬉しいですよ。よく市内のスーパーに買い物に行くのですが、段差がある時、「（車椅子）押しましようか？」と声をかけてくれる人や、引き扉を開けてくれる人がいます。優しさを感じるんですが…

ま ですが…？

佐 「車椅子だから何もできなくてかわいそう、やってあげなければ…」という気持ちで手を出してくれているんじゃないか、と受け取ってしまうこともあって、その時にはみじめな気持ちになります…感謝はしていますけどなるほど…でも相手はそんな風に思っているかもしれないし…

ま …逆に、こういう風にしたいとかあるんですか？

佐 普通に！

普通…？？？



こんな生活しているよ、障がいがあっても♪



佐 「車椅子だから外に出られない」

じゃなく、車椅子でも自由に外をうろろろできる地域になるといいなあと思っています。私なんかは、電車に乗って東京も行くし、毎日のように外出していますよ♪

前回のかけはしでは、サポートしてくれる人たちを紹介しました。「こういう生活をしたい」という希望をかなえるための応援団です。

「車椅子だから一人暮らしはできない」「車椅子だから色々な活動に参加できない」「じゃなく、一人暮らしもできるし、社会の一員として参加もできる、そういったことを伝えたくて。」

障がい者の自立に向けた活動をしている「みのあか」に参加したり、笛吹市自立支援協議会の当事者・家族部会にも参加したり、自分の体験したことを積極的に発信しようと思っています。自分が体験したことを伝えることで、同じような境遇の人、同じような悩みを持っている人が、一人でも一歩を踏み出すきっかけとなれば…という思いからです。

ま 障がいがあってもなくても、「こんな生活したい」という思いは誰にでもありますよね。私たち支援センターふえふきの職員も、「本人の気持ちを大切に」その人それぞれの自立に向けてお手伝いしていきたいと思っています。お願いですよ〜（〇〇）

以前は普通に働いていた佐野さん。今回は笑顔で色々な話をしてくれましたが、辛いこともたくさん経験してきました。それでも今笑顔でいられるのは、一人じゃなく、色々な人との繋がりがあからだと思えます。

「車椅子だから道に咲いているすみれの花に気付くことができるんだよ」

「障がい者になったから生まれた出会いもたくさんあるんだよ」「健常者も障がい者も、普通に地域で暮らせるようになるといいなあ…」佐野さんの気持ちが、読んでくれた人に伝わりますように…☆



※みのあか…

佐野さん達が組織した、様々な障がいを抱えた人達が自主的に集まる会。定期的に会議を開き、様々な話し合いを通じて茶話会やボランティア活動等様々な活動を展開している。

※笛吹市自立支援協議会の

当事者・家族部会…

障がいのある人が障がいのない人と共に暮らせる地域をつくるため、障害福祉に係る関係機関が情報を共有し、地域の課題解決に向け協議を行うための会議を開く等の活動を行う。笛吹市は笛吹市協が事務局となり、運営している。協議会は部会に別れ、当事者・家族部会はその一つであり、佐野さんはこの会に自主的に参加。活発な意見を述べている。

上記のお問い合わせは・・・

社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会
障害者地域活動支援センターふえふき

TEL 055-263-1777 FAX 055-263-1769